

(7) 大洲・喜多ブロック（大洲市、内子町）

～産地づくり～

既存の主力品目の野菜等のほか、当地域を代表する落葉果樹（キウイフルーツ、ぶどう、くり、かき等）の生産体制強化に加え、新たなマーケットの開拓など、出口を見据えた取組を進め、産地ブランド力の向上に努めます。また、適地適作を基本とし、省力化や集約化を積極的に推進し、収益性の高い品目導入や栽培技術の高位平準化を図り産地基盤を強化します。

～推進品目や産地づくりの方向～

○県内有数の野菜産地の維持・発展

1 新技術導入によるいちご産地の強化

【取組】

- ① 育苗期における病気対策を重点的に指導
- ② 難防除害虫ハダニ対策として、IPM技術の導入
- ③ 新規栽培を目指す若手農業者の育成

【成果】

- ① 健苗育成による安定生産・出荷：127t
〔R5：134t、R4：147t、R3：140t〕
- ② ハダニ天敵（ミヤコカブリダニ等）の導入：12戸〔R5：10戸、R4：6戸〕
- ③ 新規就農：0戸〔R3～5：各1戸〕

2 高収益品目の導入と産地化推進

【取組】

- ・主要品目（すいか、はくさい）の端境期を狙った高収益品目（ラディッキオ）の栽培技術の確立、販促活動によるPR

【成果】

- ・栽培状況：6名、3.0ha（春植：0.5ha、秋植：2.5ha）〔R5：5名、1.7ha〕
- ・出荷量：15t〔R5：12t〕
〔吸水ポリマーの施用方法を実証し、畝処理の効果が安定したが、収量性等は今後も検証を継続〕
- ・リーフレット作成やメディアでのPR活動を通じ、認知度が向上

3 国営事業で造成された優良農地の保全

【取組】

- ・内子地区において国事業を活用し、野菜への転作を推進

【成果】

- ・中山間地域総合整備事業（農業用水利施設の老朽化対策等：69,248千円）で整備し、一部で野菜（サツマイモ、ねぎ等）や景観作物を転作



ハダニの天敵放飼でIPM推進



ラディッキオをTVでPR



土壌保湿剤の現地実証調査



冬季シャインマスカットの
出荷調整



かきの環状剥皮の実施

○特色ある落葉果樹の産地力強化

1 シャインマスカット生産基盤強化と冬季販売の推進

【取組】

- ① 未開花症（開花異常）に対する耕種的対策の実施
- ② 地元産直市での冬季シャインマスカット販売

【成果】

- ① 支梗を残した房づくりの実践で収量減を抑制
- ② 高単価販売で認知度が向上 生産額：2.56億円〔R5：2.72億円〕
出荷量：1.1t〔R5：1.2t、R4：1.1t〕

2 かきの早期出荷、高品質果実生産による産地力向上

【取組】

- ① 刀根早生への環状剥皮・キュアリングの推進、技術講習会の開催
- ② 富有柿の輸出を推進

【成果】

- ① 9月の出荷量の割合：26%〔R5：25% R4：27%、R3：37%〕
- ② 香港向け冷蔵富有の輸出量：0t〔R3～R5：各2t〕※害虫被害のため

3 キウイフルーツの生産基盤強化

【取組】

- ① かいよう病発生状況調査の実施及び発生・拡大防止対策の指導
- ② 受粉作業の省力化推進

【成果】

- ① 403園地を調査、発生状況を把握（新たな拡大は無し）
- ② 液体受粉の導入面積：46ha〔R5：50ha、R4：47ha、R3：41.3ha〕